

中学校英語において自分の意見や考えを
分かりやすい英文で書くことができる指導の工夫

外国語班 清水 正洋（中学校教諭）

主題設定の理由

目指す生徒像

分かりやすい英文で、自分の意見や考えが書ける生徒

分かりやすい英文とは：既習の言語材料を活用して書いた英文のことをいう

ギャップ

生徒の実態

「書く活動」が好き・・・40% ⇔ 「書く活動」に自信なし・・・47%

課題

- ① 書き方が分からない
- ② 書く内容が思い浮かばない
- ③ 英単語が分からない
- ④ 既習の言語材料をうまく使うことができない

研究の内容

上記の課題をどう
解決するか？

手だて

- ① 参考となるモデル文を提示する
- ② イメージワードを考えさせる
- ③ 易しい単語を使って、表現させる
- ④ 発表の場を設けて、聞く相手を意識させる

学習内容

- ① 使えそうな英文を利用して、書く
- ② 内容を膨らませて書き始める
- ③ 易しい単語を使って、表現する
- ④ 聞く相手を意識した文章を書く

手だて④の活動例

◎アメリカからやってくるALTの家族のために、何をしたらよいかと相談を受ける
場面で、生徒が考えたアドバイスです。

【家で行う場合】

You should play karuta with them. Maybe they don't know Japanese culture. I think that karuta is interesting Japanese culture. It is easy. So I think that you should play karuta with them.

（彼らとカルタをすると良いよ。おそらく日本の文化を知らないから。カルタはおもしろい日本の文化だし、簡単だから。）

【どこかに連れて行く場合】

You should take them to a Sushi Bar. It is interesting for us to eat food because many sushi move around there. Your family can enjoy it very much.

（寿司屋に連れて行くと良いよ。多くの寿司が回っていて食べるのが楽しいよ。家族も喜ぶよ。）

☆ 短時間で書けるようになった
☆ 文の作り方が分かった

☆ 英作文を書くことに前向きになった
☆ 分かりやすく伝えたいと考えて書いた

成果と課題

○ 英作文が書けるようになったと実感している生徒が80%と増加

△モデル文がなくても英作文を書ける生徒を増やしていきたい